



令和3年11月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

東部地区漁業士会総会及び行政との意見交換会

10月22日に伊豆漁業協同組合本所会議室で東部地区漁業士会総会と行政との意見交換会が開催されました。漁業士とは県が認定した地区のリーダーとなる人材のことで、東部地区漁業士会には、伊東～宇久須地区の漁業士が所属しています。

総会の後に行われた意見交換会では、県庁の水産・海洋局長、水産振興課長及び水産資源課長も参加し、まず、SNSやECサイトを活用した水産物の販売について、(株)focus1の磯川氏による講演を拝聴しました。次に、漁業者にとって大きな問題となっているキンメダイの資源管理などについて意見交換が行われました。コロナ禍での魚価低迷もある中、どのように資源管理を行い、漁獲物を販売していくのかは、最重要課題です。今回の意見交換会を通して、参加者全員がこの課題について考える良いきっかけになりました。



↑(株)focus1の磯川氏による講演



↑意見交換会

キンメダイ人工授精試験終了

キンメダイの産卵期が終わり、今年度の人工授精試験を終了しましたのでその概要をお知らせします。キンメダイ種苗の飼育条件を検討するためには、より多くの卵が必要となるため、今年度は人工授精の機会を増やす方法について検討しました。キンメダイに麻酔をかけることにより、釣り上げた65尾中58尾(89%)を生かしたまま持ち帰ることに成功し、メス42尾中31尾から延べ52回の人工授精を行い、2,213尾のふ化仔魚を得ることができました。来年度は、ふ化仔魚の飼育方法について検討していく予定です。



←船上で麻酔をかけたキンメダイ

第27回静岡県青年・女性漁業者交流大会

10月29日に開催された第27回静岡県青年・女性漁業者交流大会で、伊豆漁業協同組合稲取支所青壮年部が『「稲取キンメ」を未来につなげるーキンメダイ食害を軽減し漁獲量向上を目指すー』を発表しました。キンメダイ漁業では、釣り上げた漁獲物がサメ、イルカ、バラムツに食べられてしまう「食害」が大きな問題になっています。厳しい漁業現場の中で、食害情報の収集・分析を行ったこと、食害生物ごとの対策を考案し、効果検証を行ったことが審査員に評価され、県知事賞を受賞しました。



←稲取支所青壮年部の皆様(発表者の八代さんは下段中央、補助者の内山さんは下段左)

11月の予定 ●テングサ潜水調査 ●イセエビ測定 ●漁業高等学園視察(10日) ●技術連絡協議会(11日) ●バラムツ捕獲調査(17~18日) ●スルメイカ資源評価会議・研究機関会議(18日) ●太平洋中区栽培漁業検討会(25日) ●さば類資源評価会議(26日)

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。